

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 21
R5. 5. 17

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~ (文責:校長 菅家 篤)

クラブ活動スタート! ~楽しい異学年交流~

4年生になるとクラブ活動が始まります。小学校のクラブでは、自分で興味・関心のあるクラブを選んで入り、6年生までの異学年と交流しながら活動します。クラブ活動の種類は、スポーツ系から文化系のクラブまで様々です。今年度も本格的に活動がスタートしました。活動の様子を紹介します。



科学クラブ 「スライム作り」



メディアアートクラブ 「オリジナル・キャラクターを描こう」



家庭クラブ 「押し花作り」



スポーツクラブ 「バスケットボール」

◆シリーズ①◆ 生活の枠組みをルールで示す

よりよい生活習慣を子どもに身に付けさせるために、親の価値観を表す枠組みを「ルール」という形で表現することができます。ルールという形あるものにすることで、子どもは親に何を求められているのかがよく分かります。枠組みは親の考え方であり、それを約束事にしたものがルールと言えるでしょう。ルールに従って共に暮らせる人が、家族と一緒に楽しい時間を過ごすことができます。枠組みをルール化するとどんなふうになるでしょう。例をあげてみます。

- 決まった時間に寝る・自分で起きる
- おやつは5時までに食べる
- テレビは2時間まで
- 宿題は夕食前にすませる
- リビングに自分の物を置きっぱなしにしない
- 履物をきちんと揃える
- 決まったお手伝い(風呂洗い、玄関掃除など)を毎日する
- 寝るときにはスマートフォンはリビングに置いていく など



ルールは、子どもが人と共に楽しく生きるための基本的なマナーを身に付けるためのものであることが大切です。子どもの自由や創造性を損なうものであってはなりません。

ルールを盾にとり、この通りにしなさいと押し付けたり、ルール通りにしなかったと親が子に罰を与えたりするのも賢明ではありません。小さい頃から親が枠組みを示し続けていけば、子どもは「そういうもの」として受け入れ、それに沿って生きていくようになります。